

# 長沼ダム完成

迫川の洪水対策として県が昭和46年に事業着手した「長沼ダム」が完成し、管理に移りました。

本体工事を終えた長沼ダムでは、ダム本体や放流設備、貯水池周辺などに問題がないかを確認するため、昨年11月から試験湛水を実施してまいりました。

試験湛水では、貯水位を平常時より約4m高い洪水時最

高水位（KP+12・60m）まで上昇させ、その後、最低水位（KP+6・50m）まで下降させました。試験湛水の結果、ダムの総合的な安全性が確認されました。

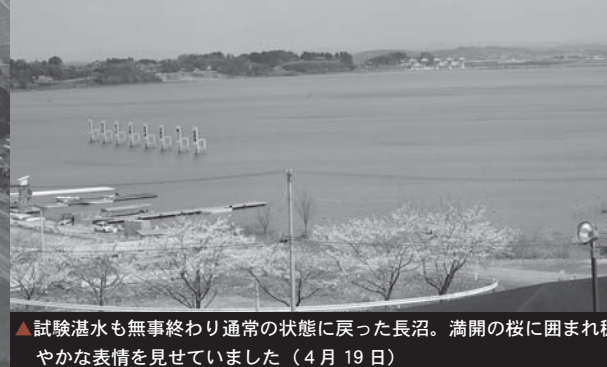
事業着手から43年。完成した長沼ダムの総貯水容量は3180万ト。洪水調節や既得用水の補給のほか、ボート競技コースとして湖面利用を図る多目的ダムとなります。



長沼の全景を捉えた航空写真（県東部土木事務所登米地域事務所提供）



▲試験湛水で最高水位まで水をためた後、今度は最低水位まで下げるため、水門から迫川と荒川にダムの水が放流されました（2月25日）



▲試験湛水も無事終わり通常の状態に戻った長沼。満開の桜に囲まれ穏やかな表情を見せていました（4月19日）

## 長沼ダム概要

### 主要施設

- ◆主ダム  
堤高 15.30m  
堤頂長 1,050m
- ◆導水路  
延長 2,700m  
堤間 105.5m
- ◆長沼水門  
幅 20m × 4門
- ◆砂原水門  
幅 15m × 1門
- ◆自然越流堤  
延長 580m
- ◆湖周道路  
延長 27キロ

### 総貯水容量

3,180万立方m

### 貯水位

- ◆平常時最高貯水位  
(10月1日～6月30日)  
KP + 8.70m
  - ◆洪水貯留準備水位  
(7月1日～9月30日)  
KP + 8.10m
  - ◆洪水時最高水位  
KP + 12.60m
- ※KP=北上川基準水面

### 総事業費

834億円



試験湛水で洪水時の最高水位まで水をためた状態の長沼（2月23日）。平常時に比べ4mほど水位が高く、左側に見えるレーンナンバー表示板も3分の1ほどが水没しています。これまでとは違った長沼の姿を見ることができました